

新製品紹介

日立UPS [無停電電源装置]

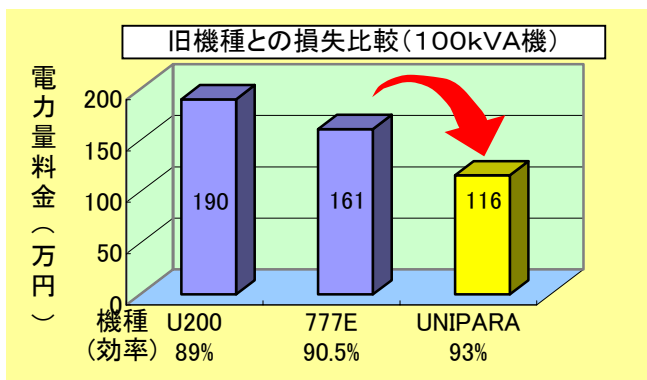
UNIPARA 50kVA, 100kVA新登場

高効率UPSでCO<sub>2</sub>排出量削減を！

UNIPARAに50kVAと100kVAを新たにラインアップしました。  
UNIPARAは省エネルギー性能の優れた環境に優しいUPSです。  
高効率運転でCO<sub>2</sub>排出量削減と電気量料金の節約をします。



旧機種と比較してどれくらい効率が良くなったの？

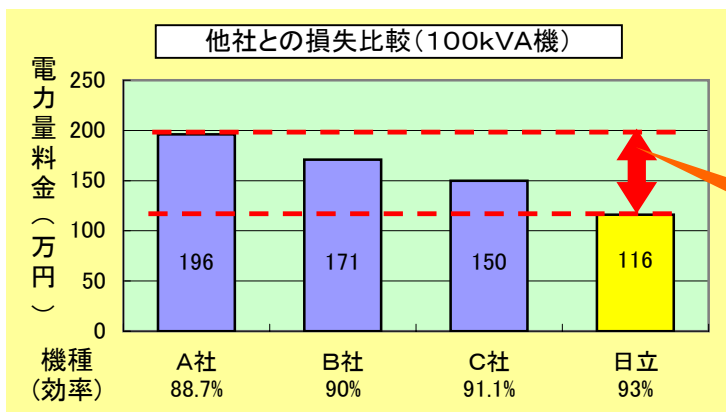


U200から777Eへ、そしてUNIPARAへと、日立はUPSの省エネルギー化(高効率化)を推進しています。  
777Eと比較しても

- 電力量料金を年間45万円節約
- CO<sub>2</sub>排出量を13.4t削減しています。

【計算条件】空調機の使用量も考慮  
・負荷容量100kVA/90kW, 24時間365日全負荷連続稼動  
・電力量料金単価: 13円/kWh, CO<sub>2</sub>換算係数0.38kg/kWh, 空調機成績係数2.0

他社と比較してどれくらい電力量料金とCO<sub>2</sub>排出量の削減ができるの？



UNIPARAを採用することでかなりの電力量料金の節約と、CO<sub>2</sub>排出量の削減ができます。

日立使用時メリット(A社比較)

- 年間電力量料金 80万円節約
- 年間CO<sub>2</sub>排出量 24t削減

【計算条件】空調機の使用量も考慮  
・負荷容量100kVA/90kW, 24時間365日全負荷連続稼動  
・電力量料金単価: 13円/kWh, CO<sub>2</sub>換算係数0.38kg/kWh, 空調機成績係数2.0  
・効率の値はカタログ及び発熱量から求めた参考数値です。

UNIPARAラインアップ

415V機	容量(kVA)	100	150	160	300	400	500	540
	効率(%)	94	94	94	95	95	95	95
200V機	容量(kVA)	50	80	100	150	200	—	—
	効率(%)	92.5	92.5	93	93	93	—	—
本体 外観								

新ラインアップ

UNIPARAは環境に優しい  
スーパー環境適合製品です。



日立グループ  
スーパー環境適合製品  
(省エネにより認定)

UPSホームページ: <http://www.hitachi.co.jp/Div/ise/upshp/index.html>

●お問い合わせ先

株式会社 日立製作所 情報制御システム事業部 UPS・インバータエンジニアリング部  
TEL:(03)3258-1111(大代)

# UNIPARA / 415V機 活用事例紹介

UNIPARAは効率の高いUPSですが、415Vをうまく活用することによってさらに省エネが推進できます

## ●150kVA UPS導入例

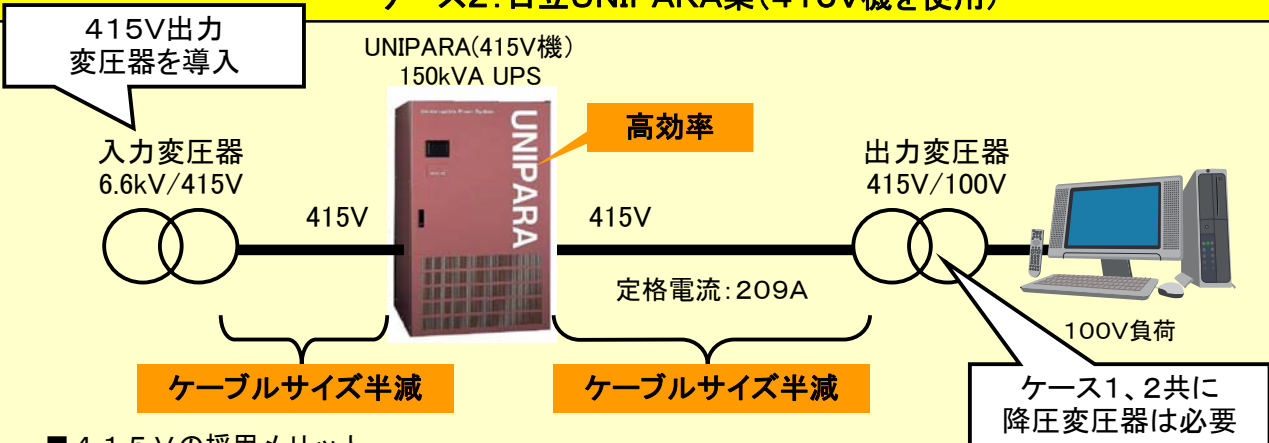
UPSを受変電設備から導入するような場合、UPSの入力変圧器を415V出力のタイプにして、UPSは415V機とする。UPSの二次側の変圧器については、415Vから100Vに降圧する変圧器を設けて100V負荷に対応する。下図のケース1の場合も、2の場合も入力変圧器および出力変圧器が必要なことには変わりなく、ケース2の方がUPSの効率が高分省エネ性能が向上します。

### ケース1: 従来の200V機を使用



CO2排出量削減  
電気量料金が削減

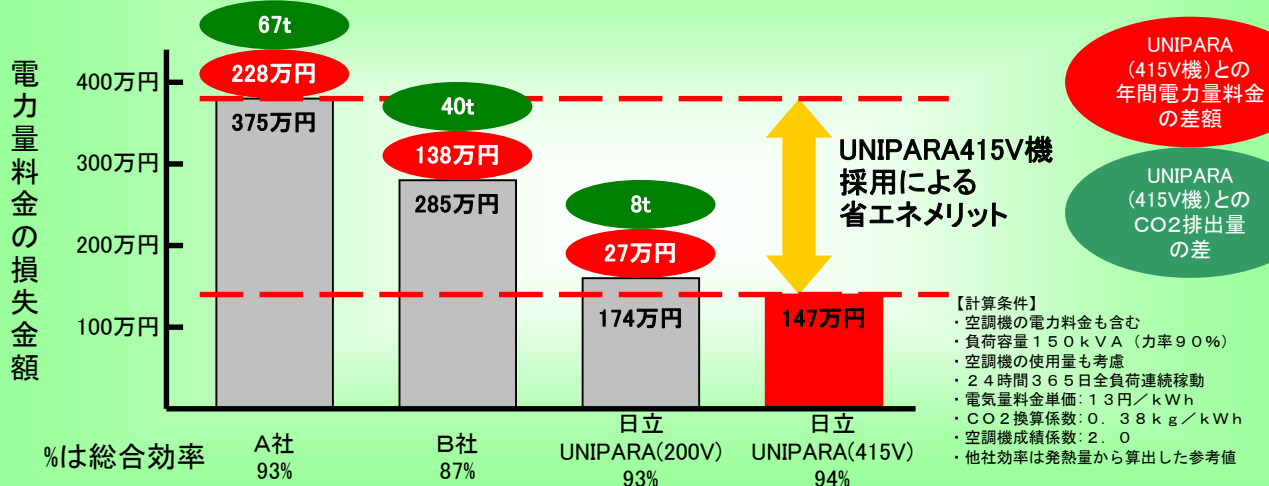
### ケース2: 日立UNIPARA案(415V機を使用)



#### ■415Vの採用メリット

- ①200V機より効率が高く、更に電力量削減及びCO<sub>2</sub>排出量の削減ができます。
- ②入出力幹線の電流が200V機と比較し半減することからケーブルサイズが1/2となり工事費用の低減もできます。

### ケース1と2の電力量料金とCO<sub>2</sub>排出量比較(150kVA) 200V機(他社又はUNIPARA 200V)と、UNIPARA 415V機との比較



■UNIPARA (415V機) 採用のメリット(15年間) 405~3420万円の電力量料金の節約  
120t~1005tのCO<sub>2</sub>排出量の削減